

議事録

開会前に新たに委員となった2名(及川佳寿美さん・中村奈津美さん)に対して委嘱状を交付(福祉部長より)

1 開会

2 あいさつ

福祉部長

会長

3 協議

(1) 介護保険事業の運営状況について

資料1 奥山係長説明

【梅木委員】

要介護認定の介護1の認定期間について、不安定な方は6ヶ月というのは理解できるが、認知がない方で明らかに状態が安定しているにも関わらず、6ヶ月の期間となっているのはどうなのか。以前審査員もやっていて、国の適正化事業を受けたことは理解しているが、あまりに短く利用者さんへの負担が大きい。
→国の適正化の指導をもとに期間を決めている。

当日配布のグラフで認定率の推移と当市での予防の取り組みの効果について説明。(課長)

【小原善則委員】

認定の軽度者が多いという分析を聞いて、その要因にふれあいデイサービス事業が大きく関わっていると感じているが、今後のふれあいデイサービス事業についてどうなっていくのか心配している。具体的な施策が必要ではないか。
→ふれあいデイサービス事業については、始まりから随分経って地区によって取り組みが変化している。子ども会と合同で開催するところもあり、地域共生社会の視点も必要。他課とのかかわりもあるので、庁内で連携していかなければならない。

(2) きたかみいきいきプランの事業の計画と実績

資料1 杉崎・齋藤係長説明

【高橋郁子委員・地域女性団体】

先日開催されたお助けサポーター養成講座に友人を誘って参加した。地域の活動に生かせる大事なものだと感じた。次の講座の開催について早めに知らせてほしい。

→ご近所での居場所づくりやいきいき体操の活動も活発になってきている。元気な高齢者を増やすためにも大切である。次の開催については決まり次第早めにお知らせする。

【瀬川委員】

養護老人ホームに空床があると聞いた。身寄りのない高齢者も増えているので、措置に力を入れては。57という実績には市外の施設も含まれているのか。

→市外の施設へ措置した数も含まれている。市内の施設は満床である。入所判定委員会へかけ、措置が必要であると決定された方を養護施設へ入所させているが、入所が長期になると介護が必要な方は増えていく。

【高橋郁子委員・地域女性団体】

シルバー人材センターへ草刈りや草取りを依頼しても断られることがあるが、補助金を増やすなどで解決できるものか。

→補助金は国と同額を補助しているもの。高齢者といっても70歳でも現役で働く人が増え、会員数は減少している。NPOや老人クラブで訪問型サービスBを使ってゴミ出しや草刈りをすることもできる。

【高橋郁子委員・地域女性団体】

見守り安心ネットワーク事業とはどういうものか。

→郵便配達や新聞配達などの事業者が日常の業務の中で異変に気付いた際に、市や関係機関へ知らせてもらい、高齢者の生活をみんなで見守るもの。昨年度は16地区で初めて黒沢尻北地区の自治協と協定を結んだ。他の自治協へも説明会を行ったが、今のところ黒沢尻北地区以外の地区での動きはない。

4 その他

委員からはなし。

事務局から

- ・市民後見人養成講座・成年後見制度講演会のチラシ紹介
- ・次回の協議会は、令和8年2月開催予定。
- ・本日の委員報酬は、8月14日(木)に指定口座に振込予定。